



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 みらかホールディングス株式会社
 コード番号 4544 URL <http://www.miraca-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 博正

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 工藤 志郎

TEL 03-5909-3337

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	127,741	2.5	18,179	8.1	17,734	3.7	9,924	5.4
23年3月期第3四半期	124,676	10.5	16,819	5.0	17,108	4.7	9,418	△2.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,832百万円 (△2.4%) 23年3月期第3四半期 8,027百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	170.36	170.08
23年3月期第3四半期	161.79	161.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	196,449	106,946	54.2	1,828.74
23年3月期	149,082	102,797	68.7	1,759.48

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 106,559百万円 23年3月期 102,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00
24年3月期	—	35.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	5.6	22,000	3.2	22,150	2.6	12,300	10.1	211.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Miraca USA, Inc. 、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	58,508,166 株	23年3月期	58,466,766 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	238,919 株	23年3月期	233,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	58,253,374 株	23年3月期3Q	58,215,369 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成24年2月3日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州における財政危機が深刻化する中、中国経済にも成長の鈍化が見られ、引き続き厳しい状況で推移しております。

わが国においては、東日本大震災により損害を受けたサプライチェーンと生産設備がほぼ平常の活動を取り戻した一方、円高の長期化懸念や海外の景況感の悪化により、先行きは不透明な状況にあります。

臨床検査業界におきましては、震災後の一時的な受診控えなど一定の影響が見られたほか、引き続き価格低下圧力及び同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましては、さらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第3四半期連結累計期間の売上高は127,741百万円(前年同四半期比2.5%増)となりました。臨床検査薬事業において2010年9月にInnogenetics N.V.を子会社化したことが主要因で増収となりました。利益面では、臨床検査薬事業においてInnogenetics N.V.の子会社化等による利益増が見られたこと、受託臨床検査事業において固定費が削減されたこと、また、滅菌事業及び治験事業において増収に伴う利益増が見られたことから、営業利益は18,179百万円(前年同四半期比8.1%増)、経常利益17,734百万円(前年同四半期比3.7%増)、四半期純利益9,924百万円(前年同四半期比5.4%増)となりました。

なお、当社は、平成23年11月22日付で、米国内で病理検査及びこれに関連するサービスを提供しているCaris Diagnostics, Inc.及びその子会社を傘下に有するCaris Life Sciences, Inc.(現・CDx Holdings, Inc.)を完全子会社化いたしました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

(セグメントの業績)

■臨床検査薬事業

2010年9月にInnogenetics N.V.を子会社化したことが主要因で増収となりました。利益面では、一部海外子会社で為替変動を主要因とする減益が見られたものの、一方で、Innogenetics N.V.の子会社化及び国内事業の増収等を主要因とする利益増が見られました。これらの結果、売上高は29,727百万円(前年同四半期比13.6%増)、営業利益は6,802百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。

■受託臨床検査事業

一部病院内検査室の運営にかかる売上高の減少が主要因で減収となりました。利益面では、減収による利益減を固定費の削減効果が吸収したことにより、増益となりました。これらの結果、売上高は77,267百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益は8,959百万円(前年同四半期比6.9%増)となりました。

■ヘルスケア関連事業

滅菌事業につきましては、継続して受託病院の新規獲得に努めた結果、売上高は10,226百万円(前年同四半期比5.3%増)となりました。

治験事業につきましては、引き続き新規案件の獲得に注力したことから、売上高は4,773百万円(前年同四半期比11.3%増)となりました。

これらの結果、ヘルスケア関連事業においては、健康商品事業の撤退による減収と利益減を補い、売上高は20,746百万円(前年同四半期比0.8%増)、営業利益は2,429百万円(前年同四半期比8.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ47,366百万円増加し、196,449百万円となりました。その主な要因は、のれんの増加49,735百万円、受取手形及び売掛金の増加4,187百万円、現金及び預金の増加3,252百万円及び有形固定資産の増加3,110百万円があった一方、有価証券の減少12,800百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ43,217百万円増加し、89,502百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加24,030百万円、長期借入金の増加16,016百万円、流動負債その他の増加4,007百万円、固定負債その他の増加1,991百万円及び支払手形及び買掛金の増加1,492百万円があった一方、未払法人税等の減少1,942百万円及び賞与引当金の減少1,827百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4,148百万円増加し、106,946百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払3,844百万円及び為替換算調整勘定の減少2,094百万円があった一方、当第3四半期純利益9,924百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ14.5%減少し、54.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9,268百万円減少し、23,808百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は15,982百万円（前年同四半期12,226百万円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益17,365百万円、非資金支出項目である減価償却費7,326百万円及び仕入債務の増加1,299百万円があった一方、法人税等の支払7,965百万円及び賞与引当金の減少2,141百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は46,103百万円（前年同四半期19,316百万円の使用）となりました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出40,871百万円、有形固定資産の取得による支出4,721百万円及び無形固定資産の取得による支出1,008百万円があった一方、定期預金の払戻による収入751百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は21,306百万円（前年同四半期4,438百万円の使用）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入20,000百万円及び短期借入れの増加19,400百万円があった一方、長期借入金の返済による支出13,418百万円、配当金の支払額3,831百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出633百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月24日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

平成24年3月期の連結業績予想にかかる売上高は、既存事業の売上高が若干弱含みで推移している一方、2010年9月にInnogenetics N.V.を、また、2011年11月にCaris Diagnostics, Inc.をそれぞれ買収したことなどから、対前年同期比増収の予定であります。

利益面では、臨床検査事業における研究開発費用の増加及び受託臨床検査事業におけるラボ分散化のための一定の先行投資や電力対策費用を見込む一方、主要各事業において増収に伴う利益増が見込まれることから、営業利益、経常利益、当期利益ともに対前年同期比増益の予定であります。

なお、Caris Diagnostics, Inc.及びその子会社の業績につきましては、買収完了日から平成24年3月31日までの期間の損益計算書を、当期末において連結する予定です。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、Miraca USA, Inc.は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

この適用により、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、ストック・オプションの権利行使により払い込まれた場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分を含めて算定しております。

また、前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の数値は、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、以下のとおりであります。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 161円64銭

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,740	18,992
受取手形及び売掛金	30,384	34,572
有価証券	17,800	5,000
商品及び製品	4,515	4,404
仕掛品	4,319	4,620
原材料及び貯蔵品	4,060	4,275
その他	7,285	7,985
貸倒引当金	△261	△1,640
流動資産合計	83,845	78,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,334	16,579
工具、器具及び備品（純額）	7,075	7,201
土地	8,838	8,927
その他（純額）	5,766	4,417
有形固定資産合計	34,015	37,125
無形固定資産		
のれん	9,172	58,908
ソフトウェア	4,603	4,057
その他	7,564	8,572
無形固定資産合計	21,341	71,537
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550	1,529
その他	8,495	8,160
貸倒引当金	△164	△113
投資その他の資産合計	9,881	9,576
固定資産合計	65,237	118,239
資産合計	149,082	196,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,497	10,989
短期借入金	1,984	26,015
1年内償還予定の社債	290	270
未払金	5,753	5,355
未払法人税等	3,610	1,668
賞与引当金	4,199	2,372
その他	7,169	11,177
流動負債合計	32,505	57,848
固定負債		
社債	485	280
長期借入金	237	16,254
退職給付引当金	6,011	6,050
資産除去債務	640	673
その他	6,405	8,396
固定負債合計	13,779	31,654
負債合計	46,284	89,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,703	7,767
資本剰余金	23,425	23,489
利益剰余金	73,297	79,377
自己株式	△500	△516
株主資本合計	103,925	110,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40	△38
為替換算調整勘定	△1,425	△3,519
その他の包括利益累計額合計	△1,466	△3,557
新株予約権	338	384
少数株主持分	—	2
純資産合計	102,797	106,946
負債純資産合計	149,082	196,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	124,676	127,741
売上原価	78,251	78,945
売上総利益	46,425	48,795
販売費及び一般管理費	29,605	30,616
営業利益	16,819	18,179
営業外収益		
受取利息	19	27
受取配当金	28	30
保険配当金	115	124
持分法による投資利益	—	21
その他	322	287
営業外収益合計	487	492
営業外費用		
支払利息	63	101
賃貸費用	32	32
投資事業組合運用損	11	23
買収関連費用	—	677
持分法による投資損失	6	—
その他	84	103
営業外費用合計	199	937
経常利益	17,108	17,734
特別利益		
固定資産売却益	10	65
投資有価証券売却益	7	—
和解精算益	—	116
その他	6	31
特別利益合計	25	213
特別損失		
固定資産除却損	147	221
災害による損失	—	143
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	765	—
その他	298	217
特別損失合計	1,211	582
税金等調整前四半期純利益	15,921	17,365
法人税、住民税及び事業税	5,377	5,856
法人税等調整額	1,125	1,585
法人税等合計	6,502	7,441
少数株主損益調整前四半期純利益	9,418	9,924
少数株主利益	—	△0
四半期純利益	9,418	9,924

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,418	9,924
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△120	2
為替換算調整勘定	△1,271	△2,094
その他の包括利益合計	△1,391	△2,091
四半期包括利益	8,027	7,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,027	7,832
少数株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,921	17,365
減価償却費	7,234	7,326
のれん償却額	624	808
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,304	△2,141
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	26	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	48
受取利息及び受取配当金	△48	△58
持分法による投資損益 (△は益)	6	△21
支払利息	63	101
固定資産除却損	147	221
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	765	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,388	△1,131
たな卸資産の増減額 (△は増加)	332	△567
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△276	△524
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,077	1,299
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△364	160
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,548	552
その他	471	525
小計	20,695	23,961
利息及び配当金の受取額	49	58
利息の支払額	△64	△72
法人税等の支払額	△8,454	△7,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,226	15,982
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20	751
有形固定資産の取得による支出	△5,525	△4,721
無形固定資産の取得による支出	△1,495	△1,008
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△11,652	△40,871
その他	△662	△254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,316	△46,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7	19,400
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△95	△13,418
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△552	△633
株式の発行による収入	42	105
自己株式の取得による支出	△7	△5
配当金の支払額	△3,594	△3,831
その他	△224	△309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,438	21,306
現金及び現金同等物に係る換算差額	△367	△453
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,896	△9,268
現金及び現金同等物の期首残高	39,500	33,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,604	23,808

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	臨床検査 薬事業	受託臨床 検査事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,166	77,927	20,582	124,676	—	124,676
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,268	1,441	106	3,816	△3,816	—
計	28,434	79,369	20,689	128,493	△3,816	124,676
セグメント利益	6,199	8,381	2,236	16,817	2	16,819

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去1,324百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,321百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

富士レビオ株式会社による株式取得により、Innogenetics N.V. 及び同社子会社を取得いたしました。また、株式会社エスアールエルによる株式取得により、株式会社日本医学臨床検査研究所及び同社子会社を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、「臨床検査薬事業」セグメントで4,262百万円、「受託臨床検査事業」セグメントで799百万円、「ヘルスケア関連事業」セグメントで54百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	臨床検査 薬事業	受託臨床 検査事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,727	77,267	20,746	127,741	—	127,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,415	1,695	219	4,330	△4,330	—
計	32,142	78,963	20,965	132,071	△4,330	127,741
セグメント利益	6,802	8,959	2,429	18,191	△11	18,179

(注) 1. セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去1,395百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,407百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、Miraca USA, Inc.を新たに設立したことにより、また、Miraca USA, Inc.が新たに設立した買収目的会社を吸収合併させることによりCaris Life Sciences, Inc. (現・CDx Holdings, Inc.)及び同子会社のCaris Diagnostics, Inc.、Caris Pathology, PC、Caris Cohen Dermatopathology, PC、Cohen Dermatopathology, PCを、連結の範囲に含めております。

これらにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「受託臨床検査事業」において64,369百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

Miraca USA, Inc.を新たに設立し、また、Miraca USA, Inc.が新たに設立した買収目的会社を吸収合併させることによりCaris Life Sciences, Inc. (現・CDx Holdings, Inc.)及び同子会社のCaris Diagnostics, Inc.、Caris Pathology, PC、Caris Cohen Dermatopathology, PC、Cohen Dermatopathology, PCを、取得いたしました。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、「受託臨床検査事業」セグメントで50,673百万円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分等が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
<p>(国内普通社債の発行)</p> <p>当社は、平成24年2月3日開催の取締役会において、次のとおり国内普通社債を発行することを決議しました。</p> <p>(1) 銘柄：第1回無担保普通社債</p> <p>(2) 発行総額：10,000百万円以内</p> <p>(3) 発行時期：平成24年2月4日から平成24年6月末日まで</p> <p>(4) 発行価額：社債額面金額の100%</p> <p>(5) 利率：社債額面金額に対して1.5%以内</p> <p>(6) 償還期限：5年以内</p> <p>(7) 償還方法：満期一括償還</p> <p>(8) 使途：借入金返済資金に充当</p>